

一般社団法人奈良県助産師会 2020年度事業計画

【役員会】

目的：地域における助産師会活動の将来を見据えた構想を思考した社会貢献を行う。

目標：1.市町村訪問事業について行政と契約交渉を行い正当な方法で運営する。

2.助産師として、産後ケアに必要な知識とスキルを習得したエキスパートの育成を目指す

3.健康教育に必要な知識とスキルを習得したエキスパート助産師を育成する。

4.ホームページの活用促進と部会を超えて会員交流を図ることができる。

5.勤務部会が参加できる活動や企画を考えて交流を図る。

6.クロップミップ・更新の申請と評価に協力する

会員数：160名を目指す

事業計画 1. 市町村訪問の契約法改定

2. 個人情報保護法の実施

3. 女性・子育て支援センター事業に代わる事業活動の活発化

4. 会員（特に勤務部会）が楽しく参加できる事業の開発

5. 役員会、理事会開催 近畿代表者会議、総会参加

6. アドバンス評価協力

7. 事務局の建物維持、将来に向けて運営検討案作成（耐震、修理、転居等）

【助産所部会】

目標 1) 助産院において質の向上を図り、事故防止及び居託医療機関の確保に努める

2) 産前産後ケアの充実と発展に努める

3) 日本助産評価機構の認定申請に向けて研鑽する

4) 後輩育成のため若手助産師及び学生教育に努める

5) 個人情報保護法に基づき情報の保護に努める

事業計画 1)-1 部会への参加を啓発する

1)-2 部会での事例検討会を行い、情報の共有化を図り事故防止に努める

1)-3 部会主催研修会の充実

1)-4 日助、都道府県助産師会、助産学会、看護協会等の研修会の

周知を図り参加啓蒙に努める

2)-1 医療機関のカンファレンス実施の情報収集と参加啓蒙する

2)-2 個人情報保護法に基づき情報の保護に努める

3)-1 産前産後ケアに関する情報の共有化。奈良県下の市町村との

産前産後ケアの提携の構築に努める

- 3)-2 産前産後ケア充実のため行政への訪問挨拶
- 4)-1 認定のための説明受講
- 5)-1 学生実習を受け入れ、助産倫理に基づき質の高い指導を行う
- 5)-2 他施設助産師との交流・研修会
- 6)-1 個人情報個人情報保護ガイダンスに準じ保護する
- 6)-2 個人情報保護に関する研修会の参加

【保健指導部会】

目的 地域での母子保健活動が円滑に実施でき新しい分野での活動が行える。

- 目標
- 1.安全で安心な保健指導母乳育児支援を行う。
 - 2.地域母子保健に携わる助産師として質の向上を図る
 - 3.都道府県助産師会保健指導部会との連携を強化する。
 - 4. 地域における医療機関や行政、関係機関との連携をはかる。
 - 5. 保健指導部員数の確保を目指す

事業計画 1.①母乳育児支援自己評価の実施

- ②訪問時インシデント・アクシデント体験報告書のデーターを収集する。
 - ③データーを分析し、マニュアル（分析集）を作成する。
- 2.奈良県助産師会研修会や日本助産師会研修会に参加し、自己研鑽に努める。
 - 3.各地区研修会の部会集會に参加し、ネットワークを強化する。
 - 4.市町村訪問指導者会議や周産期連携会議に出席し、各市町村の動向・会からの連絡を行い市町村と会との調整役割を担う
 - 5. HP・現会員への声掛けを継続的に行い、会の活性化を目的とした部会員増加を目指す。

【勤務部会】

目的：勤務部会の活性化を図る。

目標：1. 助産診断・技術の研鑽及び、会員の交流を図るために研修会を開催する。

事業計画 1. 勤務部会の研修会を開催する

勤務部会研修会の参加が少なく、助産所部会と共同での開催を検討する。

【広報委員会】

目的：ホームページや三部会だよりの編集を通じて、会の内外に向けて助産師会の活動を発信する。

- 目標：1. 内容を充実させ、興味をもって見に来てもらえるホームページをめざす。
- 2. 三部会だよりの読み物としての価値を高め、読むのが楽しみになる紙面を作る。

事業計画 1-① ホームページデザインの計画・編集

- ②一般ページの編集マニュアル作成
 - ③部会・委員会の依頼を受け編集作業
 - ④ホームページパトロール（1回/月）
- 2-① 三部会便り年4回発行（今年は印刷・発送予定）
- ②取材記事・バトン掲載継続
 - ③ペーパーレス化に向けた移行期間とし、インターネット配信の準備を行う。
3. 広報委員会3回実施
- ①うち1回はホームページ会議とし、様式や内容の方向性を決める

【教育委員会】

- 目標：1. 助産師としての資質を高める研修会を計画・開催し、より多くの参加を募る。
2. 産後ケアの法制化に伴う必要な指定の研修会を企画・準備する。
3. 研修会がスムーズに開催する為に、事前申込み・事前振込みを確立させる。

事業計画 1. 継続的・長期的視野で、又会員の要望する研修会を企画、開催する。

CLoCMiP 認証研修、指定研修として6講座を予定。

2. 産後ケアの為に必要な指定研修会を2～3講座、企画する。
- <2020年度研修計画案表参照>
3. フリーメールに変わる研修会の周知、勧奨方法を考え、参加者の減少を避ける。
4. 事前振込みの周知、実施を呼びかけ研修会のスムーズな運営を図る。

【組織強化委員会】

- 目標：1.会員の個人情報に安全に管理し個人情報保護に努める。
- 2.会員の個人情報保護を念頭に関連部署への連絡を速やかに適切に行える。
- 3.新入会員の増加をめざし、会の活性化の方略を提案し、実践する。

事業計画 1.会員のパソコン管理体制を確立する。

- 2.復職支援セミナー、進学ガイダンスへの積極的参加・看護協会との交流の実現。
- 3.新入会員の獲得を目指す
- ①日本助産師会入会案内パンフレットを各助産所に配布し設置依頼。
 - ②その他病院や開業医等に勤務する助産師に依頼し預けていく。
 - ③助産師会の研修会やイベント時、入会案内持参し未会員助産師にPRと配布。
 - ④学生会員へのPR(助産師養成学校にパンフレット持参・所属会員に依頼するなど)
 - ⑤助産師会入会メリット研修会1年間無料受講やアドバンス助産師認定研修PR。
 - ⑥勤務助産師保険、保健指導保険に加入ができるとPR。
 - ⑦看護協会などの潜在助産師研修でPR。

4.退会者の減少に努める。

①退会理由の可能な限り確認し、活動の方向性を理解する。

5.看護協会と連絡を密にし、有用な情報を得て会員の獲得を目指す。

①復職支援セミナー時・進学ガイダンス時などを利用する。

②看護協会に在籍する会員の協力を得る。。

【安全対策委員会】

目的：会の安全文化の向上を図り、安全の視点で業務環境を整備する

目標：1. 会員各々の、リスク感性の向上と安全文化の底上げ

2. 安全管理マニュアルの作成

3. 報告しやすい組織体制を整える

4. リスクマネジメントの知識を高め、助産業務におけるアクシデントやインシデントを共有・原因分析し、安全な看護が提供できるよう活動する

事業計画①安全研修開催

②メディエーターの育成

③本部開催の安全研修へ参加（委員）

④訪問時事故防止セルフチェックリストやインシデント・アクシデント報告書の活用状況の確認・評価

⑤助産所安全評価の実施及び転院・搬送報告の集計と本部への結果報告

⑥重大事故発生時の速やかな対応（事例分析委員会）

⑦インシデント・アクシデント報告ルートの周知

⑧訪問指導及び地域での保健指導のチェックリスト活用と評価（保健指導部会と協働）

⑨各助産所に2022年までに日本助産評価機の評価を受けるための準備を勧める（助産所部会と協働）

⑩会の安全管理マニュアル作成について：必要性・予算・内容等企画案から着手（理事会と協働）

【公益事業委員会】

（健康教育係）

目的：出前講座の質の保証と発展を図り、地域の人々の健康の改善・向上に貢献する。

目標：1. 担当者の確保

2. 出前講座評価の活用

3. 教材の充実と管理

4. 会議の充実

- 事業計画 1. ①研修会、HP での明確な活動提示と募集チラシの作成・配布
②勤務部会会員にへ向けた講座見学募集を行う
2. ①評価表のデータ化し分析結果を提示する
②評価に基づく具体的な活動の改善策立案と共有
3. ①教材の購入計画の立案と手順整理
②定期点検・修繕を行い、搬送・保管の工夫を明確にする
③新教材の購入（新胎児人形一式）
4. ①講座実践における気づき、疑問点の共有
②発達段階に応じた講座のテーマを挙げ、担当者間での方法論の研鑽を行う

(委託訪問係)

目標 1、業務改革

- 2、市町村との委託事業継続のためのマンパワーを確保する。
3、母子のために安全・安心なより良い助言指導ができるよう指導員のスキルアップをはかる。

事業計画 1、役員会、保健指導部会と協同し、委託訪問事業としての業務内容を検討する。

- 2、マンパワーの確保に努める。
3、奈良県助産師会教育研修、日本助産師会研修等への参加、2 回の事例検討、1 回の勉強会を行いスキルアップをはかる。
4、新規訪問指導員へ充実したオリエンテーションを行えるよう内容を検討する（訪問開始前～）
5、市町村会議出席および保健センターとの連携を図る。
6、ホームページを有意義に活用する。

(子育て支援係)

目的：助産師が地域において子育て支援の拠点を推進することによって、子育ての不安を緩和し、子供とその家族のすこやかな育ちを応援する。

目標：①妊産婦とその家族における子育て支援の継続ができる。

- ②企業依頼の育児相談や講師依頼を継続、拡大する。
③会員に子育て支援の動向をしらせ、協力とマンパワーを確保する

事業計画①子育てイベントの開催

- ②ホームページの改善により助産師会の活動をアピールし、企業依頼を増やし、会の運営資金を増やす。
③毎月のメルマガに子育て支援の動向を掲載する。